

情報ボックスNO. 6のテーマは、『上肢装具の種類』についてです。

前は、補装具ができあがるまでということをお伝えしました。
今回の情報ボックスでは、上肢装具について詳しくお伝えします。



上肢装具の種類

上肢装具とは、上肢(肩から指にかけて)各部位に装着する装具です。
上肢装具は、大きく8つの種類に分けられます。

(「肩装具」「肘装具」「長対立装具」「短対立装具」「把持装具」「手背屈装具」「MP伸展屈曲装具」「指装具」)
各分類に分けられた代表的な装具について、写真等で紹介したいと思います。

①肩装具



肩関節の固定及び安静のため

②肘装具



上腕の関節の変形予防、矯正保持のため

③長対立装具



手関節を背屈位に固定して、母指を他の指と対立位に保持するため

④短対立装具



手関節を固定せず母指を他の指と対立位に保持するため

⑤把持装具



手関節の掌屈、背屈運動を利用してつまみ動作を行うため

⑥手背屈装具



手関節を軽度背屈位(手の甲側)にして、安定保持のため

⑦MP伸展屈曲装



MP関節(手の付け根の関節)を屈曲または伸展させるため

⑧指装具



指の関節を固定したり、適性保持のため